

## 編集部便り



大きな改訂です。新学習指導要領の下で授業を始められた全国の先生方からの戸惑いの声が聞こえてきます。曰く、活動が多すぎて時間が足りない。曰く、文学作品をじっくり読ませたいのに。曰く、漢字を教える時間がとれない……。私どもも、迷いの中で十四年度版教科書の編集を行いました。この教科書が使用されるこれから三年間、先生方といっしょに、どうしたら真に「言葉の力」がつくのかを考え続けたい、そうしなければならぬと考えています。

迷いの編集期間に、私どもを導く灯台の役割をしてくれたのは、「生きる力とは『言葉の力』だ」という編集委員の先生の一言でした。例えば、「話すこと・聞くこと」の活動は、話を力を身につけることとはもちろんですが、それを支える「言葉の力」をつけることではないでしょうか。「話すこと・聞くこと」の活動を通して、子どもたちが考える、そのことが尊いのだと思います。そのとき、確かに子どもたちの頭の中では言葉が生きて動いているからです。

「話すこと・聞くこと」の活動は他の教科でも行いますが、それが国語科で行われることの意味を先生方とともにしっかり確認していききたいと思っております。

### 「学習指導書正誤訂正」

「小学校国語学習指導書別冊六年(上)」(朱書編) P 33 松尾芭蕉の句の解説部分に誤りがありました。

誤 季語・夏 正 季語・春

「小学校書写五年学習指導書」P 69の「ひらがなの ひょう」の中に誤記がありました。

「小学校書写三年学習指導書」P 52図中、朱書き部分「垂露」「鉄柱」が入れ替わっていました。

お知らせするともに、お詫ひ申し上げます。指導の際には、留意ください。

## 広報課便り



平成十四年四月から、新学習指導要領の下で編集された新しい教科書の使用が始まりました。それに伴い、「国語教育相談室」も今回の38号から紙面が新しくなりました。表紙や全体の印象はいかがでしょうか。内容についても、実際の指導に役立てていただけるものにしていきたいと考え、広報課一同張り切っています。

巻頭「口ずさむ詩」は、38号から何回か続けて阪田寛夫先生の詩を取り上げます。掲載した詩は、阪田先生自選のもので、今回新たに、本号のために改稿いただきました。さらに、作品に寄せる言葉もお書きくださいました。是非、子どもといっしょに声に出して読んでみてください。

特集は「話すこと・聞くこと」についてです。毎日だれかと話さない日はないのですから、「話すこと・聞くこと」は、当たり前のことではないかと思っていました。実はとても大切で、難しいことなのです。コミュニケーションを図るという意味では、子どもの成長過程で小学校の六年間、最も大切な時期です。その小学生を「指導なき」先生方の「苦勞」を改めて感じました。

連載は、「好評だった「先生と子どもたちのためのミニ心理学」をはじめ、「評価について」「楽しく学ぶことと文字」「書写」って、こんなに

おもしろい!!」を用意いたしました。ご期待ください。



## 人を想う、本にふれる、文学を愛でる



表題作はじめ、文筆家77人が綴る日々交々。  
日本文藝家協会編によるエッセイ・アンソロジー。

【編集委員】高田宏／津島佑子／増田みず子／三浦哲郎／三木卓

### 収録筆者

青木玉／阿川弘之／秋山駿／池内紀／伊藤桂一／稲葉真弓／岩阪恵子／岩橋邦枝／大河内昭爾  
大庭みな子／小川洋子／長部日出雄／河合隼雄／川上弘美／川村湊／川本三郎／岸田衿子  
木下順二／久世光彦／黒井千次／玄侑宗久／小池昌代／小林恭二／近藤富枝／最相葉月  
佐伯一麦／三枝和子／阪田寛夫／佐野真一／三宮麻由子／篠田桃紅／柴田翔／清水良典  
庄野潤三／城山三郎／新藤兼人／杉本苑子／鈴木貞美／鈴木志郎康／瀬戸内寂聴／高田宏  
高梨豊／高橋順子／田久保英夫／多田智満子／田辺聖子／谷川俊太郎／種村季弘／つげ忠男  
辻章／津島佑子／坪内祐三／津村節子／富岡多恵子／中野孝次／中丸美繪／長山靖生  
野見山暁治／日高敏隆／日野啓三／藤井誠二／古井由吉／古山高麗雄／別役実／辺見庸  
堀江敏幸／増田みず子／眉村卓／三浦哲郎／三木卓／水上勉／三好徹／村田喜代子／目取真俊  
山田太一／山本一力／渡辺保 (五十音順・敬称略)

### 光村図書

ベスト・エッセイ2002 落葉の坂道 定価:本体2,000円(税別)

〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9 TEL. 03-3493-3953 FAX. 03-3493-5730  
http://www.mitsumura-tosho.co.jp E-mail: shuppan@mitsumura-tosho.co.jp